

ダブルス決勝

作成:山本広報

■平成29年7月27日(木)

8:00	朝食
9:00	選手村出発
10:15～	男女ダブルス決勝試合観戦
12:45	昼食、買い出し
13:00～14:30	TD会議
15:00～16:30	ミックスダブルス決勝試合観戦
17:00～20:30	リフレッシュタイム
21:10	選手村到着
21:30～	解散、就寝

日本代表チームの試合は全て終了しましたので、本日行われた試合の結果を掲載します。

【男子ダブルス決勝結果】

Mikael Alix Laurent・Vincent Novelli(フランス)[1] ○ 7-6(4),4-6,6-3 ● Urs Ferdinand Breitenberger(ドイツ) [2]
前回デフリンピックダブルス金銀ペアが今回の決勝も激突!
前はドイツが金だったが、今年はフランスがリベンジを果たし金メダルを獲得。

【男子ダブルス3位決定戦結果】

Robert Gravogl・Mario Kargl(オーストリア)[3] ○ 7-5,4-6,6-3 ● Egor Panyushkin・Iaroslav Sergeevich Revin(ロシア) [5]
前回デフリンピックダブルス銅のオーストリアが今回も銅メダルを獲得。
順位は入れ替わったが男子ダブルス金銀銅メダル獲得ペアは前回に続いて変わらず。

【女子ダブルス決勝結果】

Chiu-Mei Ho・Chia-Wen Lin(台湾)[1] ○ 6-1,6-4 ● Marine Beney・Aurelie Coudon(フランス)
台湾ペアが金メダルを獲得!
55歳のベテランと21歳の若手の融合で栄光をつかんだ。

【女子ダブルス3位決定戦結果】

Tutern Banguoglu・Asuman Saki(トルコ)[3] ○ 6-3,6-2 ● Parul Gupta・Madhu Jaiswal(インド)
銅メダルは地元トルコが獲得。惜しくも4位となったインドも今後アジア内で日本の強敵となるだろう。

【ミックスダブルス決勝結果】

Egor Panyushkin・Polina Smirnova(ロシア)[5] ○ 7-5,6-0 ● Vincent Novelli・Aurelie Coudon(フランス)
金メダルはロシアが獲得。23歳のpanyushkinと15歳のSmirnovaの若手ペアです。

【ミックスダブルス3位決定戦結果】

Prithvi Sekhar・Shaik Jafreen(インド)[4] ○ 6-4,6-3 ● Chun-Wei Wang・Chiu-Mei Ho(台湾)[2]



男子ダブルス表彰式



女子ダブルス優勝の台湾ペア

ダブルス決勝を観戦した親松選手にコメントを頂きました。

親松選手のコメント:ダブルスの決勝、3位決定戦を観戦して感じたこと

日本選手がメダルを獲得するにはもっとサーブの強化をしなければならないと感じた。
もちろんリターンも大事だが、サーブキープが出来なければリターンブレイクしたところでゲームの差は離れてしまう。
サーブは特に早いサーブもしくは回転をかけて相手を追い出すサーブを身につけることによって
サーブキープの確率はかなり上がると思った。
そして平行陣で2人ともボレーに行き、戦うことも必要になる。
そのためリターンの位置も改めて考え直し、この先に向けて改善していかなければならないととても感じた。